

CHOHO

広報誌 [長報: チョーホー]

Vol. 23

2008. April SPRING

Since 2002



特集

海から広がる世界へ

～未知なる宝庫を探る水産学部～



長崎大学長 **齋藤 寛**
Saito Hiroshi

追伸：
学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)にも
アクセスしてご意見をください。
[メールアドレス]president@ml.nagasaki-u.ac.jp
必ずお返事します。

学長 コラム

学びやすい環境づくりが
始まっています

さる平成二十年三月十九日、「長崎大学学位記授与式」を執り行いました。「学位記授与式」はいわゆる「卒業式」とは違います。

普通にいう「卒業式」は正式には「卒業証書・学位記授与式」といい、学部卒業生および大学院修士課程修了生に卒業証書と学位記(学士、修士)を授与するものです。女子学生が振袖姿で卒業証書を受けとる光景や、会場前で卒業生が胸上げされている姿がよく放映されますからおなじみでしょう。

最初に述べた「学位記授与式」とは大学院博士課程において勉学と研究に励み、所定の単位を修得し、学位論文の審査に合格した者が「博士」の学位を授与される式典をいいます。

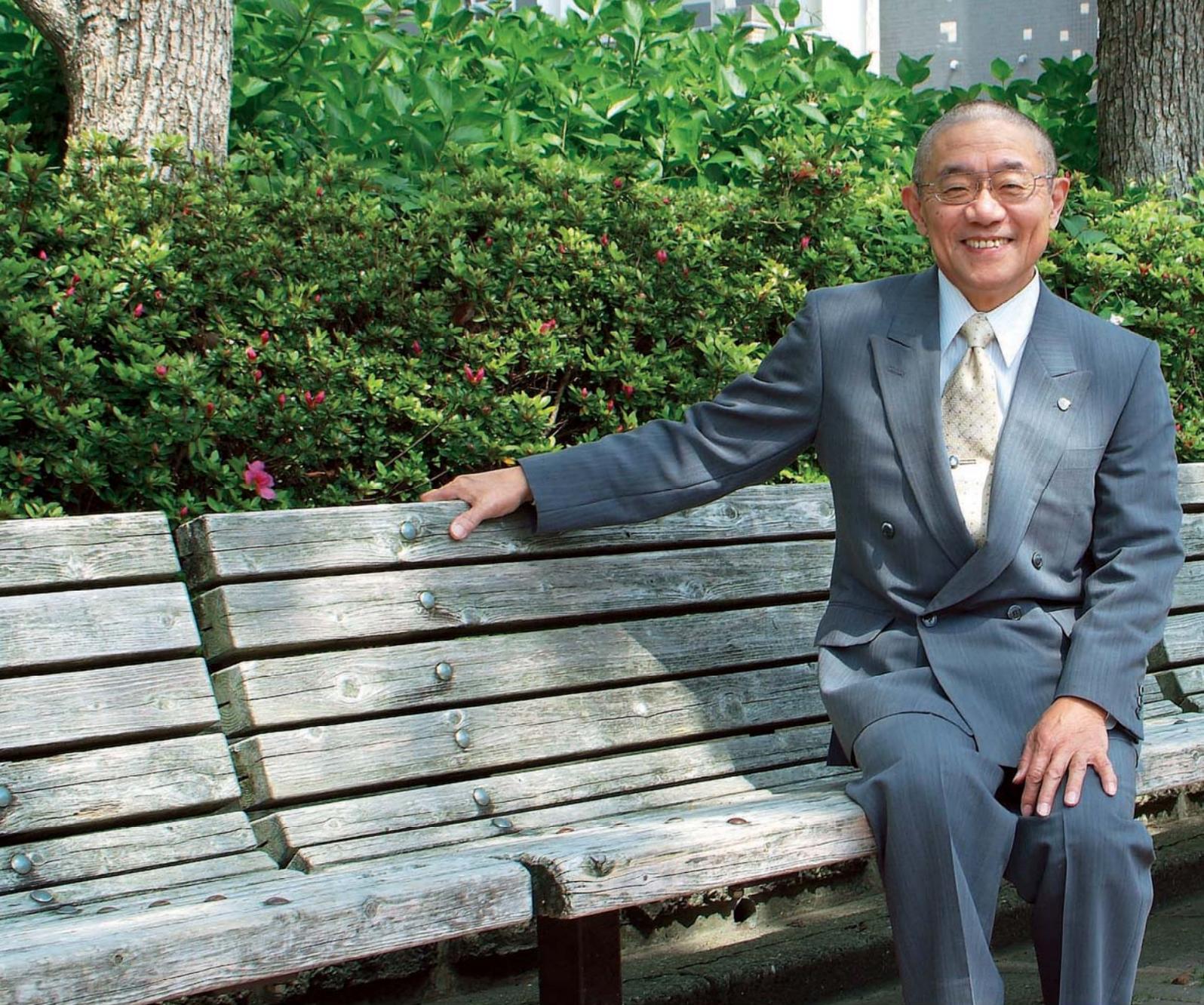
本学では、これまで長い間、「学位記授与式」は大学事務局三階の会議室で行われてきましたが、大学のもっとも大切な行事にふさわしい会場設営、雰囲気とはいえず、正直言ってお粗末でした。

三年前、三宅保信事務局長(現・国立大学協会事務局次

<CONTENTS>

《特集》	
海から広がる世界へ ～未知なる宝庫を探る水産学部～	2
《留学生のキャンパスライフ》	
王 恬婷 さん (台湾)	8
《We Love Circle》	
チアリーディング部 Berries	9
《学内紹介》	
長崎大学生協へようこそ	10
《人クローズアップ》	
経済学部 山口純哉准教授	12
《自然災害を考える》	
長崎の安全と安心 ～豪雨災害～	15
《長大ニュース》	
	18
《古写真に見る 近代ホテルの黎明期(1)》	
雲仙温泉 下田ホテル	20
《インフォメーション》	
	21
《編集後記》	
	21

◎本紙記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌CHOHO〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。



長)から「学位記授与式の会場と雰囲気は博士課程修了者の名譽のためにも工夫すべきではないか」との提言がありました。私もまったく同感でした。

まず、式場を中部講堂に移すことにしました。そして、指導教員はもとより、家族、後輩の参加を呼びかけました。これを喜び母国から両親が駆けつけてくれる留学生も出てきました。今回の式典はモーツアルト・アイネクライネナハトムジークの弦楽四重奏から始まりました。

ところで、中部講堂での式典にはもうひとつの理由があります。

実は三年前の大学院博士課程入学者に身体障害者の方が一名おられ、普段、車椅子の生活でした。その院生を指導する後藤恵之輔教授が「大学事務局二階の学長室へは車椅子が行けません。先生の主義は学生顧客主義でしょう？院生はみな学長と話したいのです。何とかしてください」といいました。私は一言もありませんでした。

バリアフリー化は本学の大きな課題であり、改善の努力をしていますが、事務局は当分の間は無理でした。そこで、大学バリアフリー化の一端として「学位記授与式」を中部講堂で行うことを決めたのです。

昨年七月、放送大学長崎学習センターと本学図書館の合築が竣工し、図書館がバリアフリーとなりました。この三月末には教育学部、工学部、水産学部の改修工事が完了し、さらに環境が改善されます。

三年前に入学し、恵まれない環境にありながら、勉学に励み、めでたく博士(工学)の学位記を得られたのが森 正さんなのです。

学長告辞において、私は森 正博士に学内環境の整備の遅れをお詫びし、またそのような環境のなかで努力され本日を迎えられた博士の姿に、長崎大学教職員学生のすべてが感銘を受けていることを述べ、学ぶ意欲のある人は誰でも学ぶことのできる学園環境づくりにこれからも努力することを約束しました。

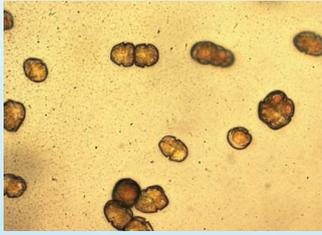
海の循環。それは物質的なものだけでなく、水産学部をめざす新たな研究・発見への循環でもあるのです。

微

無きに等しい大きさではあるが、圧倒的な数と底知れぬ生産力で海洋生態系の底辺を支えている生物。それが「プランクトン」です。

彼らの生き様を直接見ることは、なかなか難しいのです。ミクロンという単位で表現する小さなものが多数なのですから。顕微鏡は有力な武器になります。しかし、このレンズを通して、知ることに限界があります。分類も困難です。プランクトンの名前はなかなかわかりません。超微細なものは、図鑑はおろか学術論文でさえ記載されていないことが多いのです。

そんな「微」なる生き物ですが、出現数は膨大です。サイズが小さくなればなるほど数は増加し、1ミクロンより小さいものは、海水1CC中に百万匹ほど存在します。海はまさに



赤潮プランクトンの一種

魚

魚類は地球上のあらゆる水域に適応し、さまざまな形態や生態に進

化してきました。現在、世界中に約2万5千種もの魚類が知られています。長崎県には、干潟の海である有明海や閉鎖的な大村湾、外洋に広がる東シナ海など様々な環境の異なる海洋が隣接しており、魚類の種類量ともに豊富であることが明らかになってきました。時期によっては寒帯・温帯・熱帯の全ての魚を見ることができ、また、周辺の海域はイワシや

(鈴木利一教授)



ウチワザメというエイ

アジ、フグやマグロ類など回遊魚の産卵場としても重要で、有数の好漁場を形成しています。しかし、最近の沿岸環境悪化や地球規模での環境変動は、魚類の種類や生息数など、海の生態系に大きな変化をもたらしています。そこで、かけがえのない海からの贈り物を大切に次世代へと受け渡すため、出来る限りフィールドに出て、人と自然との調和の方法を模索しながら魚の分布や生態研究を精力的に行っています。

(山口敦子 准教授)

深

台湾から南西諸島の北側に沿うように最大水深が2000mを超す

深い海が続いています。そして、その北端部は長崎県の南西部にまで達しています。東シナ海の大陸棚上は好漁場として知られ、沢山の生物情報があります。しかし、それより深い大陸斜面と呼ばれる深海域の生物情報は極めて少ないのが現状です。

そこで、「生物多様性の保全と持続可能な利用」というキーワードを念頭に置き、大陸斜面域に生息する深海生物の種類、分布、生態などの基礎情報の蓄積に努めています。水産学部練習船「長崎丸」を用いて長崎県周辺の深海域に生息する生物の調査を実施し、これまでに新種と思われる生物、数多くの日本や東シナ海で初めての記録となる生物の他、水産資源として利用可能な生物なども確認されています。

(橋本 惇教授)



長崎県五島列島南方の水深400m海域で撮影された水産資源として有望な深海性のヒゲナガエビ(海洋研究開発機構の無人探査機「ハイバードルフィン」で撮影)

微

地球の研究

魚

魚の生態と生産

深

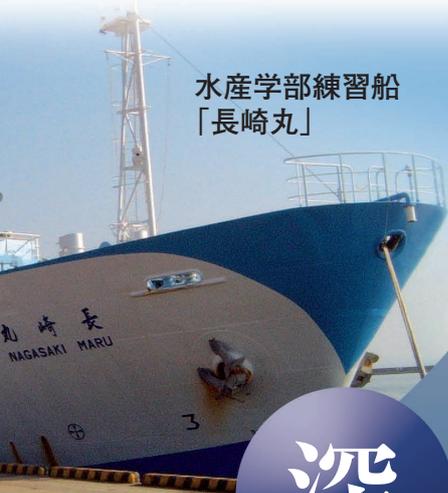
生物研究

地球の研究

海から世界へ

探る水産学部～

水産学部練習船「長崎丸」

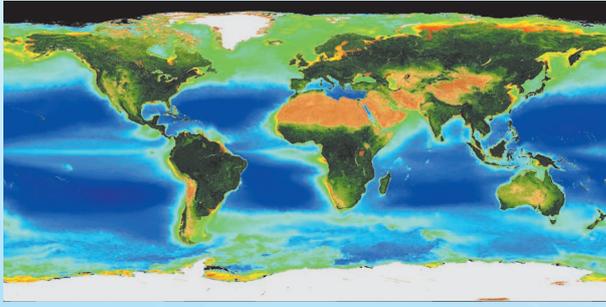


洋

地球の表面
積の約70%は海
洋に覆われていて、

人間はそう簡単には行くこと
すらできません。この広い海洋は、
人間の食料である魚を育んでいる
だけではなく、地球の気候の制御や
二酸化炭素をはじめとする物質の
循環に重要な役割を果たしているこ
とが知られています。

しかし、その海洋にも今着実に温
暖化や水質汚染など人間活動の影響
が出てきています。これだけ広い海
洋では、その変化の状況を調べるこ
とも容易ではありません。私の研究
室では、船に乗って海洋観測をする
とともに、宇宙から海洋に棲むプラ
ンクトンを調べています。



宇宙から見たクロロフィルの分布

海洋と

洋

特集

広がる

～未知なる宝庫を

海洋の研究

流

海底生物の現状

底

深海の

底

海洋生物の
生態研究の成
果は社会や地

域にどのように貢献できる
でしょうか。「生態系の保全と
再生」・「水産資源の回復への寄
与」などのキーワードがあります。

しかし、その定義や視野に納める
時空間スケールについては十分には
検討されていないように思えます。
私は1979年以来、天草の砂質干
潟で底生動物群集の栄枯盛衰を見
続けてきたことにより、その消長要
因の複雑さを明らかにすることがで
きました。この成果は、1980年代
以降に有明海の干潟でアサリ漁獲
量が急減した原因を解明するうえ
でも活かされました。

1970年代に進んだ富栄養化に
よって干潟が収容できる底生動物全
体の底上げがまず起こり、その後、
生物相互の様々な関係によって群集
構成種の個体数が変動してきたこ
とが広く認められるようになりまし
た。アサリを増やす方策はこの知見
を取り入れることにより、効果を長
続きさせることができるでしょう。現
在、研究者は短期的な視点のみに
立った対症療法を提案しがちです。
今後とも長期的視野に基づいた研究が
環境保全や水産業の再生に役立つ
ことを願っています。

(玉置昭夫教授)

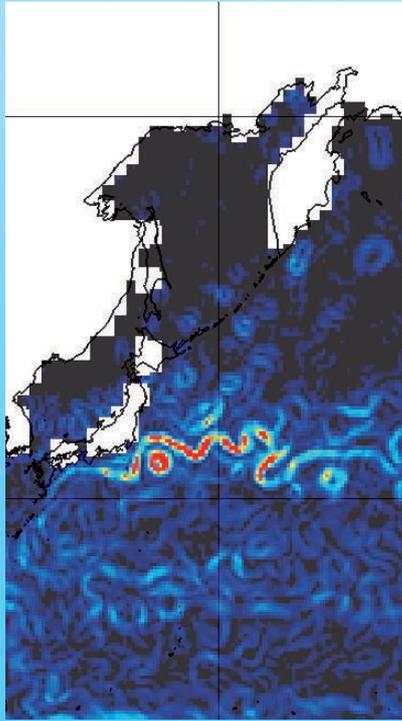
プランクトンは微生物ですが、そ
の広い生息域は宇宙から見ないとわ
かりません。これを調べることによっ
て、地球全体の気候や水質の変化に
よって海洋の生態系がどのように変
化しているのかを明らかにし、今後
人間がどのように海洋や地球と付
き合っていくべきなのか答えが出せれ
ばと思っています。

(石坂丞二教授)

昨年秋は秋刀魚が豊漁
だったため、秋の味覚を
存分に楽しむことがで
きました。漁獲量の変化は海の流
れと深い関連があると考えられて
います。

しかし、海の流れと言われて、そ
れを具体的にイメージできる人は

流



データ提供AVISO

それほど多くないかもしれませんが。
左上の図は人工衛星のデータから
計算した、海面における流れの変動
の大きさを示したものです(暖色は
変動が大きいことを示します)。近
年の技術革新によって、このような
変化に富んだ流れの実態を把握で
きるようになってきました。それと
同時に、このような変化の生じる原
因や、流れの変化が気候や生態系
に及ぼす影響など、数多くの疑問
も生じてきました。私たち科学者は
データを注意深く分析することで、
このような疑問に答えようと精力
的に研究を進めています。

(万田敦昌 准教授)

「海の循環」を研究するいじやは、



生かす



国際



生かす

海洋生物や海藻をヒトの体の活性化へつなげる



長促進作用や血中コレステロール上昇抑制効果など、アルギン酸オリゴ糖による生理活性について様々な報告がされ

昆布やワカメなどの褐藻類には、粘性のあるアルギン酸と呼ばれる酸性多糖質が存在します。私はそのアルギン酸を低分子化して得られるアルギン酸オリゴ糖に関する研究を行っています。アルギン酸は、食品添加物として幅広く利用されており、人工イクラはまさにアルギン酸の特性を活かした食品として有名です。一方で、植物の根の成

求めて研究に取り組んでいます。詳細な検討を行い、新たな生理活性を



生産科学研究科
博士前期課程水産学専攻修了
山本 美子

国際

世界規模で海洋資源利用のアジアンスタンダードを創る

海は人類共有のものという共通の意識のもとで、海洋資源を利用する国々が海洋環境や水産資源の持続的な利用を考えなければなりません。海洋環境変動や海洋生物の生態を明らかにし、水産食品の安全性を確保するに至るまでを、私たち水産学部がイニシアティブをとり、広くアジア沿岸域全体で利用

できる海洋資源利用に関するスタンダード(私たちはアジアンスタンダードと呼んでいます)を作り上げることが目標に掲げています。私たちは水産学部では、まず、長崎県を取り巻く東シナ海をフィールドの中心として、中国、韓国をはじめとする東南アジア諸国と積極的な研究と学生の交流を進めています。さらに、ノルウェーなど欧米の漁業国の大学や研究機関とも交流が進んでおり、世界に向けて水産学部ここにあり、と発信を続けています。

(阪倉良孝 准教授)

水産学部で学ぶ 留学生

海洋生物の生態解明で

工業の生産性アップへ

2004年、研究生として、海洋科学の研究について学びたいと思い、日本に来ました。現在私は、海洋生産科学専攻の学生として、海洋生物と環境との関係について研究しており、主にムール貝(ミラサキイガイ)幼生の付着に対する海藻の役割を調べています。

日本では、ムール貝が沖繩を除いて全国に分布していますが、港湾施設や臨海工場などの海中構造物に付着して被害を与えており、汚損生物として注目されています。付着を防ぐためには、まずムール貝の付着メカニズムの解明が必要ですが、しかし、そのメカニズムはよく知られていません。付着を引き起こすものの一つに海藻の影響が考えられますが、それについても、不明な点が多く、課題として重要な位置を占めていると思います。

将来は付着メカニズムを解明し、新たな防止方法の開発に貢献したいと思っています。

生産科学研究科
博士後期課程
海洋生産科学専攻3年
楊 金龍





食べる



地域

私達を取り巻く環境を見つめる1コマです。

食べる 安全で安心して食べられる海洋生物をつくる

フグの肝(きも)は大変美味で、致死的な毒をもつにもかかわらず、かつては「秘伝の毒抜き」を施したうえ、多くの食通が好んで食べていました。しかしながら、これによる中毒も後を絶たず、昭和58年に全てのフグで肝の食用が禁止されました。一方、本学部の研究により、フグの毒化は底生性の有毒餌生物に由来するもので、これを遮断して無毒の餌で養殖すれば、無毒のフグが生産されることが明らかになりました。この成果に基づき、平成16年に佐賀県は「佐賀県嬉野温泉ふぐ肝特区」構想を提案しました。新たな名物料理として

地域 新しい水産物のブランド化に取り組む

私は、主に水産物のブランド化に注目しています。ブランド化と聞くと、高い値段で売れてとても儲かる仕組みだと思われがちです。しかし、私が考えていることは、おいしい魚であればそれにふさわしい値段で流通してほしい、あるいは漁業者や水産加工業者の皆様の苦労が報われる価値評価が成り立ってほしい、という『あるべき付加価値を実現させる』仕組み作りです。

このことは、結局、私たちの社会が海の生物資源と共存できる仕組みの二面につながると考えています。なぜなら「値段が安くて儲からない↓儲からな

いからどんどん魚を獲る↓魚が減る↓獲りたい魚や食べたい魚がいなくなってしまう」という資源利用の負の連鎖を断ち切ることができるところです。研究室では片岡教授をはじめ、4年生から博士課程学生までがいろいろな課題に取り組んでいます。また国内の関係者だけでなく外国や留学生との接点が多いため、柔軟な視点が大事だとよく気づかれます。

(亀田和彦 准教授)

いからどんどん魚を獲る↓魚が減る↓獲りたい魚や食べたい魚がいなくなってしまう」という資源利用の負の連鎖を断ち切ることができるところです。研究室では片岡教授をはじめ、4年生から博士課程学生までがいろいろな課題に取り組んでいます。また国内の関係者だけでなく外国や留学生との接点が多いため、柔軟な視点が大事だとよく気づかれます。

(亀田和彦 准教授)



長崎ブランド魚「ごんあじ」 (有) 柏木水産提供

<http://www.fish.nagasaki-u.ac.jp/>

地表面の多くを占め、地球上に最も多く存在している酸素からなる水。水は地球環境変動の緩衝器として働き、生物にとってめぐるまれた環境を提供しています。多様な生物は互いに影響し合い海という環境さらには地球環境を形作っています。私たち人類もこの生態系の構成員として、海と語り合い、その恩恵を受けて地球環境を構成していると言えます。

水産学部の活躍は、これからも未知なる宝庫を求め、この海との対話の方法を探る助けとなるでしょう。

海から世界へ羽ばたく

水産の分野を表すキーワードをあげると、海洋、海流、海底、深海、海水魚など身近な多くの言葉をあげることが出来ます。考古学が明らかにしてきた人類の歴史の始まりから現在まで、私たちの生活にこれらの言葉は深く関わってきました。

ここに紹介した水産科学を表す身近な言葉は、水産学部のそれぞれの研究者の興味の対象となっている分野を表しています。二つの分野は、その言葉の優しさと対照的に非常に深みのある複雑な世界を形作っており、世界中の研究者の未知なる宝庫を探る活躍の場でもあります。一方、これらの言葉をつないで全体を俯瞰すると、海から広がる世界が見えてきます。

長崎県の水産業活性化のための人材養成プログラム

「海洋サイバネティクスと長崎県の水産再生」

海洋環境の悪化にともなう水産資源の減少や、海外からの水産物輸入による魚価の低迷など大きな問題をかかえる長崎県の水産業。これらの問題を水産現場の人たちが解決し水産業を活性化していくために、水産学のほか、環境科学、生物学、経済学、工学など関連分野の専門知識・技術を結集した新しい水産技術人教育のプログラムが始まっています。



水産学部 教授 **中田 英昭**
Nakata Hideaki

※前水産学部長時に「海洋サイバネティクス・プログラム」を提案されました。



- 科学的に考える力を持ち、現場のニーズに応える高度の技術力を備えた人材育成。
- 新しい水産業を展開できる経営者・指導者の輩出。

長崎県水産業の活性化へ

海環境や資源を大切にしながら、資源を育て、安全・安心の食品をつくることで、収益を上げる。「持続性の高い21世紀の水産業」を目指す。

水産業を活性化させる「海洋サイバネティクス」とは？

水産業の諸問題を解決し活性化をはかるには、海環境や生物・経済・工学などさまざまな分野の専門知識や技術が必要です。そのため集学的・多分野融合型のアプローチを「海洋サイバネティクス」と呼んでいます。「海環境を大切にしながら水産資源を増やし、それを食品として安全に安心して利用する」というこれからの漁業を担う水産現場の人材を養成することがこのプログラムの目標です。このプログラムは、平成19年度文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」に採択されたもので、水産分野では全国で初めての事例です。長崎県の水産業にかかわる方を対象として毎年10名程度を募集・選考し、2年間の専門教育を受講し一定の要件を満たした受講者にはプログラムの修了証を授与し、水産業活性化のための技術開発等の支援をします。

長崎 ① 3つの専門コースで行われるプログラム

海洋サイバネティクスのプログラムには、「漁業管理コース」、「増養殖コース」、「水産食品コース」の3つのコースが設けられており、専門科目の講義と実習はコース別に進められます。それに加えて、すべてのコースの共通科目として環境や経営・流通、国際動向などに関する講義や実習が行われます。受講生は大学で集中的な講義・実習を受けますが、その他に、受講生の仕事の現場に大学の教員が出向き、受講者が直面している問題を共有しながら、一緒にその解決にあたる現地実習の時間が組み込まれています。

2年目の最後の半年は「海洋サイバネティクス演習」として、それぞれの受講生が選んだ課題に集中的に取り組み、その検討結果をレポートにまとめます。

「海洋サイバネティクスと長崎県の水産再生」開講式

2007年11月27日、放送大学長崎学習センター（文教キャンパス）において、「海洋サイバネティクスと長崎県の水産再生」開講式を開催。ここでは、各関係者の挨拶の後、水産学部長によるプログラムの概要説明や、基調講演が行われました。

開講式閉会後、20名の受講者を対象として講義が行われ、第1日目は、各コース共通科目「海洋サイバネティクス総論」や「水産物の流通システム」、「海洋環境保全学実習」が実施されました。





閉鎖循環方式によるトラフの陸上養殖場における現地実習

海洋サイバネティクス 各コースの概要

共通科目と実習	海洋環境保全・環境診断・環境修復技術、赤潮観測・防除技術、水産経営・水産物流通、乗船海洋実習など
増養殖コース	養殖業・種苗生産における安全と品質管理に関する知識と技術・特産魚の生産技術、マイクロ海洋生物の応用技術など
漁業管理コース	漁業において野生生物資源である水産生物を持続的に利用するための知識と技術・生態系保全型の漁獲技術など
水産食品コース	水産食品の安全と品質管理・流通に関する知識と技術・安全・安心なブランド魚の創出、新魚種の利用・加工技術など

特長② 地域結集型プロジェクト等の研究資産を生かした教材

長崎大学は、平成13年度から18年度まで長崎県等と連携して地域結集型共同研究事業「マイクロ海洋生物による海洋環境保全・生物生産に関する技術開発」を実施しました。長崎県の特産魚としてマハタをはじめとする各種種苗の量産システムを確立した点や、海洋生物の生理機能を活用した新規の養殖用餌料を開発し地域の企業と連携して製品化した点などは、このプロジェクトの成果の代表的なものです。

海洋サイバネティクス・プログラムでは、このような世界的に見ても優れた先進的な技術開発の成果を教材として活用します。また、技術開発に携わった研究者が、技術を着想するに至った経緯や、開発に至る試行錯誤の過程、失敗例などを解説します。これも技術開発のデザイン能力や問題解決能力を養成するための絶好の教材になるものと考えています。

特長③ 問題解決型学習の実践

このプログラムのもう一つの特長は、「問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)」を実践するところにあります。このPBLは、もともとは医学教育の分野で、患者の症状に応じてどのような処置・治療を行うかを学習するために導入されたものです。水産分野では、問題が多岐にわたることが想定され、また治療のガイドラインが用意されていない場合が多く、その意味でも問題を受講者と共有することが非常に重要です。受講者の仕事の現場での実習をカリキュラムに含めたのも、このPBLの効果を高めるためです。受講者はこのPBLの実践の過程で、現場の問題解決能力に結びつきます。このような形で水産現場のニーズに添えていくことにより、大学の教育・研究もさらに充実したものになることが期待されます。

このプログラムのもう一つの特長は、「問題解決型学習(PBL: Problem-Based Learning)」を実践するところにあります。このPBLは、もともとは医学教育の分野で、患者の症状に応じてどのような処置・治療を行うかを学習するために導入されたものです。水産分野では、問題が多岐にわたることが想定され、また治療のガイドラインが用意されていない場合が多く、その意味でも問題を受講者と共有することが非常に重要です。受講者の仕事の現場での実習をカリキュラムに含めたのも、このPBLの効果を高めるためです。受講者はこのPBLの実践の過程で、現場の問題解決能力に結びつきます。このような形で水産現場のニーズに添えていくことにより、大学の教育・研究もさらに充実したものになることが期待されます。



これらの生物機能解明から、迅速な環境診断や効率のよい魚の生産技術開発へと展開する



高浜漁協にて、マダイの活魚輸送における問題点を探る

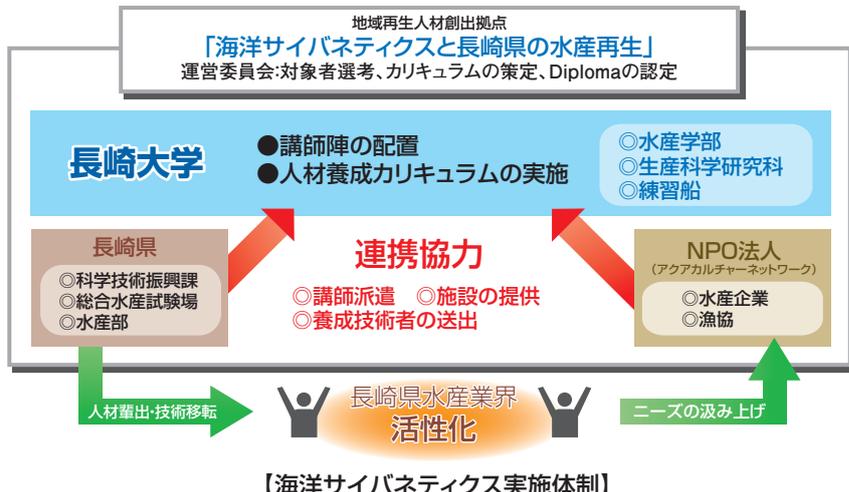


輸送の際に生じる魚体の擦れを予防するため、カゴには仕切り入れられる

海洋サイバネティクスに関するお問い合わせ

長崎大学水産学部事務部内
海洋サイバネティクス・プログラム担当

[TEL] (095) 819-2795
[FAX] (095) 819-2799



◆長崎大学に留学したきっかけは何ですか？

中学生の頃に見ていた日本のテレビ番組が大好きで、日本語に興味を持ったことが最初のきっかけです。地元の専門学校で日本語を学んでいるうちに、「もっと日本語に触れたい」「もっと日本語がうまくなりたい」と思うようになり、留学を決意しました。

長崎へ来る前、大阪の日本語学校に1年間通っていました。日本の大学で同世代の人と学生生活を送りたいという気持ちもあったので、日本語学校の先生に相談。私のような中国系の留学生が比較的少ない大学・学部を希望したところ、長崎大学教育学部を勧められました。長崎はまちの雰囲気や自然も素晴らしいと聞き、興味が倍増。もともと都会より、自然の多い場所が好きなので、長崎大学へ行くことを決めました。今は日本語漬けの楽しい毎日を送っています。

◆王さんにとって、日本語の魅力は？

たくさんの日本人と心を通わせたり、日本人と同じ目線で物事を見たり、感じたりできる点です。人と話しているときはもちろん、日本語の本やテレビを見て、繊細な描写やおもしろい表現が理解できた時はワクワクします。台湾語にはない表現がたくさんあることも魅力です。

◆学生生活で得た新たな発見はありますか？

去年10月、初めて附属小学校での教育実習を経験しました。それまで一度にたくさんの子とも達とふれあう機会はなかったのですが、前日はかなり緊張しました。

留学生のキャンパスライフ



台湾
Taiwan



将来は、日本語を通して
たくさんの人と
コミュニケーションできる仕事がしたい

附属小学校で
6年生の教育実習を
行う王さん。
国語の授業で
宮沢賢治を
取り上げました。



中国各地の出身者や、地元住民など異なる民族からなり、自然豊かで緑に恵まれている台湾。美しい景勝地の他、約18,400種の野生動物が生息し、世界的に知られる生態保護地域があります。台湾はたくさんの民族文化が融合しており、特に「食」は中国各地の料理に加え、日本、韓国料理など実に多様。「グルメ王国台湾」として世界的に有名です。



日本のテレビ番組が大好きという王さん。特にドラマのストーリー展開がおもしろく、夢中になっているとか。テレビを見ていて分からない言葉があると、番組そっちのけで、言葉を調べてしまうことも多いそうです。

オウ テンテイ
王 恬婷さん
Wang Tian-Ting
教育学部初等教育コース4年



担当クラスの子ども達からもらった感謝状。王さんのかけがえのない宝物です。

それから、子ども達が本当に自分の日本語を理解してくれるのか、台湾人の私を受け入れてくれるのか、すごく不安だったことを覚えています。でも、実習をやってみると、子ども達が私に興味を持ってきて、「台湾の事を教えてー」と、駆け寄ってきてくれた時はとてもうれしかったです。この実習で、年齢に関係なく、いろんな人とコミュニケーションをする楽しさを学ぶ事ができました。

◆逆に、日本の生活で
ギャップを感じることはありませんか？

日本人がよく使う「あいまい表現」は未だに慣れません。

例えば、友達と会話している時も、「それは微妙だね。」という返事がよく返ってくるんです。そんな時、どう返事していいか困りますね。だから、私の周りの友達には、「はい」「かいいえ」で、はっきり答えてもらうようにお願いしています(笑)。それから、日本に来て初めて食べた納豆も苦手です。初めて体験した味でした(笑)。

こういう場面で、台湾と日本の文化の違いを痛感させられますね。

◆王さんのこれからの夢を教えてください。

将来は、日本語を活かした職業に就くことが夢です。現在は、貿易関係や旅行関係、翻訳関係の仕事に興味を持っています。そのためにも、自分の日本語のレベルももっと磨きをかけていきたいです。仕事を通して台湾と日本の文化交流にも貢献できるように自分の視野を広げたいです。

チアリーディング部 Berries

チーム名の「Berries(ベリーズ)」は、フルーツのベリーからとったもの。かわいらしい響きにちなんで、チームもかわいさをウリに活動しています。

発声や表情づくりも大事なポイント。コーチの指導のもと、お互いに意識しながら取り組みます。



難易度が高いものはコツを掴むまで一つ一つの動きを繰り返し練習。



練習中はもちろん、その後も一緒に過ごす時間が多いというメンバー。そこで信頼関係も一層強くなるとか。



2007年秋、「わいYチャレンジフェスタ」でパフォーマンスを披露するメンバー。



メンバーのほとんどは、未経験者。運動は苦手だけど、楽しい事をしたけど、楽しい事を見つけたいと考えている人を募集中!

長崎大学チアリーディング部「Berries」部長
公文 咲希さん(教育学部3年)
メンバーは全員、勉強と部活のメリハリができています。だからこそ、チアを心から楽しめるのかもしれませんが。勉強もチアも、お互いに刺激し合いながらいつも頑張っています。

「悩んだり、落ち込んだりする時も、仲間と一緒にチアをやると自然と笑顔になり、元気が出てきます。こちらの楽しいと思う気持ちも、仲間にも見ている人にもどんどん伝わっていくのがチアの魅力なんです。」

「長崎にはチアリーディングのチームが少なく、なじみも薄いので、これからは、チアの知名度向上を目標に、地域のイベントやテレビ出演、大会出場など活動の幅を広げていく予定です。」と公文さん。そんな彼女たちの現在の目標は、今年7月に行われる九州大会への出場です。自分たちの演技に自信をつけたいということで、練習では少しずつ難易度の高い技も取り入れています。もつと多くの人に勇気と感動を与えたいと、一致団結して練習に励むメンバーの姿は、いつもキラキラと輝いています。

信頼する仲間と創る輝きの舞台

観客をいかに魅了し、ひきつけられるかを競うチアリーディング。そのダイナミックなパフォーマンスから「見せるスポーツ」の一つとして国内では大学・高校を中心にチームが結成されています。

平成17年に発足したばかりの長崎大学チアリーディング部では、現在9名の部員が練習に励んでいます。発足した当初は、唯一経験者であった部長を中心に、チアリーディングの教本やDVDを見ながら練習を重ねてきましたが、現在は外部コーチを招き、より本格的なダンスやスタンス(組み技)の練習にも取り組んでいます。

部長の公文さん(教育学部3年)は、どんな時でもチアをやる時はそれに没頭するようにしているそうです。

「昨年、地域のイベントに参加した時、初めてチアを見た観客の「チアアッてすごいね。とても楽しかったし元気をもらった。」というコメントにとても感動したというメンバー。自分たちが心から楽しんで演技をやったからこそ感動が伝わったんだと、改めて感じたそうです。

文教地区をメインに
ご紹介します!

長大生のキャンパスライフをサポート

長崎大学生協へ ようこそ

大学生の生活全般をサポートする心強い味方といえば「生協」。
今回は、長崎大学生協をご紹介します。



長崎大学生協同組合
専務理事
山下 毅さん

長大生
オススメ

人気定番メニューベスト5

- No.1 鶏の唐揚げ 税込¥210
- No.2 うどん(約7種類あり) 税込¥180~
- No.3 ラーメン(約4種類あり) 税込¥330~
- No.4 白身魚のタルタルソース 税込¥190
- No.5 ささみチーズカツ 税込¥240



日替わり定食
税込¥380(Mサイズ)

主菜・みそ汁・ご飯がセットになった日替わり定食。
定食はご飯のサイズが選べます。



2F

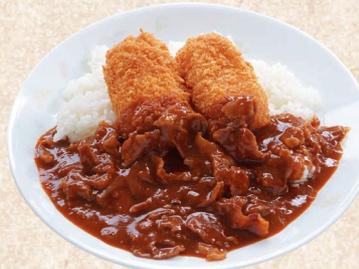
お得な「ミールカード」

「ミールカード」は
生協組合員証カードと一体型!



「ミールカード」は、学生の皆さんに、栄養バランスのとれた食生活を送ってもらおうと、年間16万円まで歯学部食堂・保健学科食堂を除く各食堂を1日1,000円を上限に利用できるシステムです。文教食堂では最大287日の利用が可能です。とても経済的です。

精算は、レジ機にミールカードを通すだけ。希望により本人と保護者には、1ヶ月ごとに利用履歴が届きます。



クリームコロッケハヤシ
税込¥400(Mサイズ)

食堂2階では、お昼限定の日替わり定食などが販売されています。その日の朝に魚市場から仕入れた地元の新鮮な魚を使ったメニューが多いのが特長。毎日決まった魚は届かないそう、仕入れた魚を見て、その日のメニューを決めるそうです。
お肉がメインの定食は、チキン南蛮が人気。その他、各種丼物も提供しています。(丼物もサイズが選べます。)

2Fでは定食を中心に販売



人気 No.1 鶏の唐揚げ
税込¥210

カリカリの唐揚げに、唐辛子の利いた甘辛ソースが絶妙の一品。もうご飯が止まらない!?

朝食はバイキング形式量り売り(1g1円)。お昼は主菜・副菜・ご飯・スープなど、食べたいメニューをその場で注文します。
定番メニューの他にも、「九州沖縄フェア」や「北海道フェア」など、季節や様々なイベントに合わせた限定メニューも登場します。他にもケーキフェアやデザートフェアもあります。

1F
各種フェアで
限定メニューも続々

さっそく長大生協を
満喫してみよう!



CHECK!



テーブルの上にあるメニュー表の裏には、食生活に関する役立つ基礎知識が掲載されています。



塩とんこつラーメン
税込¥380

栄養バランスの整ったメニューを学生の皆さんに提供しています。

文教食堂店長 山口 順二さん



文教キャンパス生協店舗・食堂

【店舗1F】平日/8:15~19:45 土/10:00~14:00 日・祝/休業
 【店舗2F】平日/9:30~18:00 土・日・祝/休業
 【食堂】平日/8:15~19:15 土/10:30~13:30 日・祝/休業

片淵キャンパス生協店舗・食堂

経済学部の生協店舗は「扶協会館」1階、食堂は2階にあります。
 食品、文具、書籍などを販売。食堂メニューはほぼ文教地区と変わりません。
 【店舗】10:00~19:45(休/土・日・祝) 【食堂】11:00~14:00(休/土・日・祝)

坂本キャンパス生協店舗・食堂

医学部、歯学部、保健学科のエリアにそれぞれ店舗と食堂があります。各学部に必要な書籍も充実。歯学部食堂と、保健学科食堂は、券売機で購入する方式のため、ミールカードは利用できません。

医学部店	【店舗】平日/8:30~19:00 土/12:00~15:30(休/日・祝) 【食堂】11:00~19:00(休/土・日・祝)
歯学部店	【店舗】9:30~17:15(休/土・日・祝) 【食堂】11:30~14:30(休/土・日・祝)
保健学科店	【店舗】10:00~16:30(休/土・日・祝) 【食堂】11:00~13:00(休/土・日・祝)

長崎大学生協に関するお問い合わせ Tel.095-845-5887(代表)



本の紹介を長大生や教員がしているとあって、本を読む学生が増加。なかなかの好評を得ています。



文教店 店長 森 二三夫さん

皆さんの参加をお待ちしています!

大学の講義に必要な教科書や参考書、専門書、文庫本などが揃っています。また、資格講座、学生総合共済、レンタカー、自動車学校、生協オリジナルパソコンの販売も行われています。
 また、こちらでは、「読書マラソン」を開催中。
 在学中に100冊以上の本を読むことを目標に企画されました。エントリーカードで申し込むと参加可能。スタンプ10個で生協利用券がもらえます。

読書マラソンを開催中

読書マラソン参加で書籍15%OFF

長崎大学生協で取り扱っている主な商品

- ◎お部屋探し、引っ越し単身パック (割引あり)
- ◎宅配便受付
- ◎名刺・はがき印刷、写真現像・プリント
- ◎各種チケット(美術館・音楽会・各種イベントなど)
- ◎スーツ (割引あり)
- ◎自動車学校 (割引あり)
- ◎レンタカー (割引あり)
- ◎フェリーバック (割引あり)
- ◎国内航空券
- ◎合宿・旅行パック (割引あり)
- ◎JR・高速バス
- ◎ホテル・宿泊手配
- ◎オリジナルTシャツ申し込み
- ◎長崎大学ロゴマーク入りグッズ
- ◎ミールカード、コンパ・オードブル
- ◎学会サポート関連
- ◎スケジュールEQ (割引あり)
- ◎各種検定、資格スクール・講座 (割引あり)
- ◎袴レンタル (割引あり)
- ◎CD・DVD・ビデオ、書籍・雑誌 (割引あり)
- ◎生協インターネット申し込み など

詳しくは、長崎大学生協ホームページをご覧ください。
<http://kyushu.seikyou.ne.jp/nu-coop/>

店舗2F 書籍・電子機器 旅行手配 アパート紹介など



店舗1F 文房具各種 食品各種・雑誌など



ごぼうウインナーパン 税込¥138



手作りパンは、通常、20~25種類が販売されています。毎日焼きたてで11時30分頃から売店に並びます。ごぼうウインナーパンは生地のもちもちさと具の相性が抜群。

販売されています。



850kcal以下!!

バランス弁当 税込¥360(Sサイズ)



生協オリジナル弁当試食会で、新メニューが登場!!

バランス弁当の他にも、生協オリジナル弁当があります。新メニュー販売の際は、事前に学生と生協職員で試食会(九州で持ち回り)が行われ、アンケートをもとに、販売候補メニューが最終決定されます。



大人気の手作りパン&バランス弁当

こちらでは、生協内で作られるオリジナルの焼きたてパンや、バランス弁当を中心に、食品や飲料水、文房具、生活用品などが販売されています。
 バランス弁当は、生活が不規則になりがちな学生のため、大学の保健管理センターが提案した、野菜中心、塩分・脂肪控えめのお弁当のこと。現在では九州地区大学生協で販売されています。



長崎の ”まちづくり” 仕掛け人

経済学部

山口

Yamaguchi Junya

純哉 准教授

愛媛県出身の山口先生は、神戸で経済学を学んだ後、

8年前に長崎大学へ赴任されました。

大学では専門の

「地域経済学・産業集積論」の研究と

講義を担当する傍ら、

長崎のまちづくりに関する活動を行っています。

様々な新しいイベントを立ち上げるなど、

精力的な「まちづくり」に取り組んでいます。



「HeArt Nagasaki」という2006年にはじまった映像祭の事務長を務めておられる山口先生。このイベントの理念に共感した富山市で映像祭が開催され、そこでのパネルディスカッションに参加。



2007年8月、田上市政の下、山口先生は、市民力向上にかかる事項を検討するために設けられた、学識者・市民団体代表からなる「市民力向上検討会議」会長を務められています。市民活動の拠点や、様々な経済支援・人的支援の充実をどう図るべきかなど、市民代表のみなさんと討論を行っています。

どんなことでも
まずは外に向かってアピール。
失敗を恐れていたって、
絶対に進歩しませんから。

● 阪神・淡路大震災と

まちづくりの関係

山口先生が神戸から長崎大学へ赴任されたのは阪神・淡路大震災から5年後のことでした。当時起こった兵庫県南部地震は、死者6千人を超す巨大なもので、市街地は一瞬にして壊滅状態に陥りました。

神戸にいらつした時から、地域経済・産業集積の研究の傍ら、まちづくりに興味のあった山口先生は、この震災で「市民が行うまちづくり」の大切さに改めて気づかされたと言います。

「大震災後の神戸は、市民ボランティアの活動のおかげで立ち直ったようなものです。国の支援だけでは、とてもあのようなスピードで復興はできなかったでしょう。全国から集まった市民ボランティアの力のすごさを改めて知らされ、『まちづくり』のあり方を見つめ直すきっかけとなりました。」

大震災による精神的な不安から、被災者の間で暴力や犯罪が続発した神戸。この大震災は、町はおろか、人々の平穏な心まで蝕んでいきました。しかし、延べ約117万人という人々が震災から約3カ月間、ボランティア活動を行ったことで神戸はみるみる回復。同時に人の心も大きく様変わりしたそうです。そこからボランティアの重要度が見直され、その重要性和将来の必要性が一気に全国へ広がりました。

「この頃はまだ、ボランティア＝無償の奉仕という考えが主流でした。しかし、ちょうど

この頃から『コミュニティ・ビジネス』という新しい考え方が生まれてきたのです。地域にある問題を市民自らが解決する仕組みにビジネスの視点を取り入れた団体が誕生してきました。私がまちづくりにおけるコミュニティ・ビジネスの重要性を感じ始めたのもこの頃からでした。」

コミュニティ・ビジネスとは、その地域の課題解決に継続的に取り組み、そこで得られた利益を地域活性化のために活用し、まちをさらに発展させようとするものです。事業の利益を追求する「企業」や、利益獲得を目的としない「ボランティア」とは異なる新しい活動のあり方です。

●長崎はとてもスロー

さて、山口先生が初めて長崎に赴任された時の長崎の印象を尋ねると、生活のスローペースに少し戸惑ったという答えが返ってきました。

「私にとつて、長崎は、全てが『スロー』に感じられました。それまで、急速に復興していく神戸で生活していたこともあり、生活のペースが



すごく穏やかに感じられたのです。はじめは正直、長崎のまち全体のスローペースに馴染めませんでした(笑)。そういうスロー

ペースも場合によってはいいことなのかもしれないが、個人的には少し気になる点があります。それは、長崎の『地域経済の活性化やまちづくり』に関する事業もスローペースであったこと。つまり、長崎では地域経済やまちづくりに関する計画があっても、具体化されている例がとても少なかったんです。

大震災の影響で、関西の市民には、『自分たちでまちをどうにかしなければ』とか、『まちをもっと良くしたい!』という認識があったようですよ。その意欲が芽生えたきっかけは悲惨でしたが、その想いが具体的な事業となつて現れていたことは確かです。自分もその中で生活していたので、両者の温度差には違和感を覚えました。」

長崎には、コミュニティ・ビジネスによって自立している団体の数が極めて少なく、そのほとんどは行政に支援を頼っているのが現状です。長崎市で開催された「長崎さるく博」は市が企画した事業でしたが、多くの市民ボランティアが長崎のまちをガイドし、参加者から好評を得ました。

山口先生は、今後このような事業が、県や市から独立し、市民だけで運営できるようにすることも地域活性化への大きな鍵になるとおっしゃいます。

●市民・学生とともに

山口先生は現在、経済学部で「地域経済」を中心に講義を行う傍ら、市内にある複数のまちづくり市民団体と関係しておられます。また、学生主体のまちづくり団体のサポートも行い、休日でも研究室と外を往復する日々を送られています。

その主な仕事の内容は、市民活動の拠点となる場所の設置、団体・個人同士のネットワーク構築、活動の経済効果に関する様々なアドバイスを行うこと。必要に応じてイベントの企画・運営のコーディネートも手掛けます。

また、学生主体のまちづくり団体のサポートでは、「学生の責任」を大切にしているという山口先生。まちづくりは、そこに住む市民や企業と協力して進めるものだからこそ、学生にもその場に通用する考察力・企画力・説明力が求められます。

「まちづくりには時間を割いて参加している方や将来を背負って取り組んでおられる方がいらつしやいます。また、当然金銭も動き、成果も問われます。学生だからといってそこで妥協は許されません。私のもとで活動する学生のみなさんには、常に『責任』を意識してもらっています。」

具体的にどのような指導をされているか尋ねると、「例えば、新しい事業を提案する場合、その案に対する根拠や裏付けを示すことも責任の一つです。新事業を行う動機はもちろん、この活動でどういう効果が得られるのか、考えられるリスクなど第三者に分

かりやすくきちんと説明できる力が必要です。失敗の挽回だけが責任をとることではありません。学生のみなさんがそういう部分を見据えながら活動ができるよう、サポートをしていくことが私の『責任』でもあります。」



学生主体で、まちづくりに興味のある学生の参加を促そうと発足した「カラ破り隊」。昨年、「カラ破り学生求ム!〜地域×学生からはじまるまちづくり〜」という企画が県の「長崎県学生さんのまちおこし・地域づくり事業」に採択されました。現在は長崎県青年協力隊と連携した活動を行っています。

●長崎市民へまちづくりの「ヒント」を残したい

山口先生は、産学官連携のグループ「DIFLAG NINE」にも参加され、長崎大学工学部石松隆和教授とともに、階段昇降機(CHOHO20号掲載)を屋内用に改良したものの事業化にも携わっておられます。

(※1) DIFLAG NINE

平成19年からはじまった産学官連携グループ。DIFLAGは、「ながさき出島インキュベータ」というインキュベーション施設(インキュベーション)とは設立したての新企業に対して国や地方自治体などが経営技術や金銭、人材などを提供し、育成すること。NINEは「New Industry and New Economy」の略。

平成19年末、中心市街地活性化にかかる視察に富山市を訪れ、市長を訪問した際の写真。ゼミ生、長崎総合科学大学教員・学生、富山大学教員とともに。

また、2006年から始めた「長崎水辺の映像祭」の事務長も務める山口先生は、今年夏に行われる3回目の映像祭に向けても準備を進めています。

「この映像祭は、前長崎県美術館長の伊藤順二氏とDEITZ株式会社の前社長である故高原寛氏の間で生まれた企画です。長崎には、美しい風景がたくさんあるにもかかわらず、実はそれらがきちんと映像化



階段昇降機

「D-FLAG NINE」の活動の様子。県、市と中小企業基盤整備機構によるサポートを受けながら、福祉用具を開発・流通させるための活動を行っています。長崎大学工学部・医学部、社会科学系教員、民間企業等により、その開発・製品化・事業化を目指しています。



障害を抱える方の中でこのような福祉用具の商品化や流通が進むよう、経済学的な側面から手助けやアドバイスを行う山口先生。先生は、長崎で生まれた階段昇降機の改良が進み、商品化されれば、地元の活性化だけでなく、他県や他国への貢献につながるきつかけになるのではと考えています。

され、県外に発信されている例が少ないんです。長崎を芸術文化の発信拠点として生まれ変わらせる。そんなお二人の想いに共感して参加しています。」

そこで先生は、お二人と連携し、長崎初の『映像祭』を立ち上げました。

「美術館という機関は、本来、人生が豊か

になるようなものを発信する所です。これからはそこに民間や市民のアイデアが付加されることが重要だと三人で意気投合。この映像祭の賞金設定もそのアイデアの一つです(笑)。地域経済を専門にしている以上、市民の方へ地域経済の活性化やまちづくりのヒントを残す、前例を創るお手伝いをすることが私の役割だと思っています。」

新しい一歩を踏み出す 大切さと責任の重さ

長崎のまちは、まだ県外の人が魅力を感じる資源に溢れているとおっしゃる山口先生。

ただ、それらがうまく加工され、県外に発信されていないことが、地域の発展を遅らせる一つの要因だと山口先生は考えています。

「福祉用具も芸術文化も、発信の仕方やそれに対する反応を上手く捉えて改善を加えれば、全国・世界に通用する可能性は十分あります。どんな事例に対しても市民の皆さんが新しい切り口で『長崎をアピールしよう』とか、『長崎を良くしよう』という思いを小規模でも、どんな形にすることが必要な時代だと思うのです。

ただ、地域を発展させるためには、どの部分が強く、どの部分が弱いのかを見極め



Message

高校生の皆さんへ

「大学選びは受験勉強と同じくらい重要」です。大学ブランドだけでなく、目指そうとしている大学の学部がどんな研究をしているのか、またどんな将来を見据えているのかを細かく知るべきです。同じような名前の学部でも、研究内容は180度違ったりもします。

自分が将来どのような方向で人生を歩みたいのか…それだけできるだけ沿った大学選びを時間をかけてやるべきなのです。そのスタートラインを誤ると、挑戦する意欲が湧きません。

分からなかったら高校の先生や大学の先生などに聞いて納得することが大切。高校生から質問を投げられて、嫌がる大学の先生はいないと思いますよ(笑)。

ることが大切です。そのためにはまず市民が外へ出て、そして、地元の現状を他と比較し、強み・弱みを見つけていくことです。そこで将来のビジョンを確立して、ようやく自分は何をやるべきなのか道筋が見えてきます。まずは一歩踏み出すことが不可欠。しかし、その新しい一歩には常に責任が伴うことを忘れてはいけませんし、途中で投げ出すことはルール違反です。取り組んだ結果はどうであれ、事実にとことん向き合う覚悟と責任は必要です。そうすることでしか、真の『発展』はないように思います。」

この数年、長崎県内のまちづくりに関するNPO法人認証数は毎年増加しています。まちづくりに携わる市民層も幅広くなり、その必要性も徐々に長崎県全体に浸透してきているとおっしゃる山口先生。先生の地域活性化に対する情熱は確実に市民へ伝わり、人々をまちづくりへと向かわせています。

長崎の安全と安心 〜豪雨災害〜

工部部安全工学教育センター
高橋 和雄教授
Takahashi Kazuo



激しかった長崎豪雨

九州は豪雨災害が多いところですが、長崎県では日本最大級の豪雨災害が発生しています。1957（昭和32）年7月諫早大水害と1982年（昭和57）年7月長崎豪雨災害で、いずれも梅雨末期の集中豪雨によるものです。長崎豪雨災害は7月23日の夕刻から夜半の集中豪雨によって発生しました。斜面が多い長崎市では、豪雨は二気に河川や低地に押し寄せ、河川氾濫と土砂災害が同時に多発し、道路が冠水または土砂崩れで寸断され、災害時に組織的な対応が取れませんでした。繁華街・浜町などの河川脇では、河川氾濫により2メートル近く冠水し（写真①）、逃げ遅れた人は電話ボックスやバス停の屋根に上ったり、電柱にしがみついて必死に難を逃れようとしていました。



① 長崎市の繁華街・浜町の長崎大水害記念塔（撮影：高橋和雄）
思案橋電停横に設置された記念碑。この地点の浸水の水位が1メートル57センチと記されています。

また、流され始めた路線バスの屋根から決死の避難をしたケースもあり、突然の豪雨による出水で逃げ遅れた人は必死の対応を迫られました。また、市街地周辺では大規模な土砂崩れがあり、多くの人命が失われました。この災害による死者・行方不明者は県内で299人、被害額総計は約3、153億円に達しました。



長崎豪雨と 被害の発生経過

（1）気象の状況 低気圧と梅雨前線がもたらした「昭和57年7月豪雨」は、長崎県南部地方に大きな被害を与えました。降雨量は、19時からの1時間で日本観測史上最高の187ミリを、19時からの3時間で366ミリ（日本観測史上3位）を記録しました。長崎豪雨は、激しい雷を伴う梅雨末期の典型的な集中豪雨で、短期間の降雨の強さでは近年の豪雨災害で最も被害の大きかった諫早豪雨をしのぎ、日本の観測史上最大級でした。

（2）被害の状況 23日16時50分…長崎海洋気象台より、大雨洪水警報が出されました。

23日19時〜20時…18時30分頃より強くなった雨は、19時過ぎに激しい豪雨に変わりました。側溝の水が噴き上げ、路面は冠水して、交通機関が運行不能となりました。20時頃より土砂崩れ、河川の氾濫が長崎市全域で多発しました。電話も輻輳し、この時すでに、都市災害の様相を呈してきました。

23日20時〜21時…河川の氾濫によって市街地が冠水し、建物の地下室への浸水被害が生じました。長崎市内の各所で停電し、さらに、石橋群の流失（写真②）やガス管折損によるガス漏れ事故も続発しました。土砂崩れ等による死者は、この間に集中しました。長崎市消防局に救助を求める電話が殺到し、パンク状態になりました。

23日21時以降…満潮が近づき、主要河川の氾濫が拡がり、土砂崩れによる被害もさらに増加しました。住民から



の問い合わせが多いことから、放送局はテレビ・ラジオにより安否放送をしました。23時以降に豪雨は衰え始め、23時30分頃に集中豪雨は終わりました。

② 半壊した国の重要文化財眼鏡橋（DEITz(株)提供）

中島川に架かっていた石橋の多くが流失しましたが、下流のこの橋は流出を免れました。



長崎の土地利用を反映した災害の特性

主に、郊外部で生じた土砂災害と、長崎市中心部の都市型水害の二面性をもちました。

(1) 土砂災害 斜面地に都市が形成されていることもあり、土石流、崖崩れなど土砂災害が多発しました(市内で4、457箇所)。死者・行方不明者の88%(262人)が土砂災害によるものでした。大規模な土砂崩れは市街地近郊で生じ(写真③)、小規模なものは未開発の自然と接する住宅地の外縁部で生じました。既設の砂防えん堤が土石流を捕捉し被害が軽減したことなどにより、砂防施設の有効性が認識されました。



3 鳴滝町の土砂崩れ現場(DEITz(株)提供)

鳴滝町の土砂崩れ現場 鳴滝町で24人が被災しました。その他に川平町内平、本河内町奥山、芒塚町、上戸石町、宿町で多くの被災者が出ました。

(2) 河川災害 洪水の発生時刻が帰宅時間帯であったために、出水による死者は、車使用中に被災したケースが多く、加えて、

長崎市を流れる中島川、浦上川などの洪水氾濫が、甚大な経済的被害をもたらしました。河川の勾配が急で短いことや、長崎市は近代になって大水害の経験がないこともあって市街地の発展に水害対策の視点を充分取り入れていなかったことが、都市型水害の原因となり、被害を大きくしました。すなわち、多量の車流出被害、ライフラインの被害、近代ビルの地下動力施設の被害、石橋群の保存と河川防災の融合などの課題がはつきり出てきました。同様に大雨に見舞われた諫早市では、1957年諫早水害後における河川改修や、水害に強いまちづくり等の対策により被害が少なく、その有効性が示されました(写真④)。



4

改修された本明川での諫早・川まつり(諫早市提供)

諫早市では、1957年諫早大水害で539人の命が奪われました。諫早市では、本明川の河川改修や水害に強いまちづくりが進んでおり、長崎豪雨時の諫早市の被害は軽微でした。毎年水害が発生した7月25日に諫早川まつりが開催され、水害の体験を忘れないようにしています。本明川に立てられた約2万3000本のろうそくの灯火が諫早の町を幻想的に描き出します。大氾濫が始まった午後8時に黙祷が行われます。



水に脆かった都市機能



5 国道34号 芒塚の道路流失現場(DEITz(株)提供)

道路の応急復旧までに1ヵ月かかりました。通勤や物流に大きな影響が出ました。

(1) 交通機能 この水害で復旧のネックになったのは、長崎の地形的制約を反映した脆さをもつ道路網でした(写真⑤)。長崎市の観光産業などが深刻な影響を受けました。長崎市の大動脈である国道34号が芒塚付近で大規模崩落するなど、主要道路が崩壊、土砂埋没により寸断。国鉄(現JR九州)、バス、路面電車等の設備、車両等にも被害が生じました。いずれも復旧には相当の期間を要しました。

(2) 乗車中の被災 乗車中に被災した死者数は、出水12人、土砂5人と推定されています。流された車は、水や漂流物を堰き止める原因となることも、交通の妨げとなりました(写真⑥)。車の被害台数は約2万台に達しました。

(3) ライフライン 極端な分業を指向する現代の都市生活は、需要者と供給者とを結ぶ種々のネットワーク・ライフラインのうえに成り立っていますが、この水害で

上・下水道、電力、ガス等の機能がまったく脆弱であることが露呈しました。また、これらの復旧には長時間を要し、都市機能マヒに起因する水害の間接被害の大きさが指摘されました。また、電話が設備の破損や輻輳により不通になりました。

(4) 地下室設備 病院、ホテル、デパート等の地下室への浸水により、電気設備、空調設備、医療機器等が冠水し、重要機能がマヒしました。また、復旧に長時間を要しました。



6 流出して重なり合った車(DEITz(株)提供)

多くの車が洪水によって浮いて流されました。車からの避難時に水圧で車のドアが開けられず、大変危険な状態になりました。



まちの復興と市民参加

豪雨災害を踏まえた都市づくりのあり方が、地域の代表も参加した「長崎防災都市構想策定委員会」において議論され、知事に対する提言がまとめられました。住民等の関心の高かった国の重要文化財眼鏡橋の復旧については、同委員会において現地保存するとともに、両側にバイパス水路を設けるといふ、防災と文化財保存の両



8 復旧した国道34号芒塚の道路
(国土交通省長崎河川国道事務所提供)

写真⑤の復旧現場
沢沿いの道路が高架の災害に
強い道路に復旧されています。
長崎豪雨の後、長崎の幹線道
路の整備が進みました。



7 2006年7月に完成した中島川兩岸のバイパス
(長崎県長崎土木事務所提供)

中島川で現地保存された眼鏡橋の兩岸には地下バイパスが
作られ、洪水時の水を安全に流すように設計されています。バイ
パス水路工事に合わせて、関連する公園、道路、橋の架け替え
等がなされ、多くの市民や観光客に親しまれる憩いの空間が生
まれています。長崎の歴史を物語る情緒と風情をかもし出すよ
うに、整備に当たって景観と周辺環境に配慮した工夫がなされ
ています。

立を図る結論が得られました(写真⑦)。この
他、安全な斜面の創成・災害に強い道路網の整
備(写真⑧)、総合的な防災体制の整備等が進
められました。既成市街地の斜面のまちづくり
は現在も進められています(写真⑨)。

9 斜面のまちづくりの説明会
(長崎市都市計画部提供)

長崎市の斜面市街地では避難路の
整備などの安全を確保することやオ
ープンスペースの確保、交通施設の
整備、住環境の改善のために、斜面
市街地のまちづくりが行われていま
す。快適で住みやすいまちは、災害
にも強いまちです。



長崎豪雨に学ぶ

- (1) 気象 気象データの分析によれば、長崎豪
雨と同様の異常な集中豪雨は全国どこで
も発生する可能性があることがわかりまし
た。長崎豪雨の後、気象庁は予報区の細分
化を図るとともに、予報の精度向上や降
雨の異常性を伝達する工夫を進めました。
- (2) 土砂災害 砂防施設等のハード対策は有
効であり推進すべきですが、早期の対応が
困難であることから、あわせて、土砂災
害警戒避難体制の確立、防災意識普及の
積極的推進等の各種のソフト対策を強力
に推進することが必要です。長崎豪雨災害
をきっかけに、従来のハード対策とあわせ
、土石流危険渓流の周知、警戒避難体制の
整備、住宅の移転の促進を柱とする総合
的な土石流対策が展開され始めました。最
終的に、1999年6月広島豪雨災害後
に制定された土砂災害防止法や2007
年度から全国的に運用された土砂災害警
戒情報としてまとめられています。
- (3) 河川災害 水位上昇が急激な河川につい
ては、分かりやすい情報をリアルタイムで住民一
人ひとりに周知させることが重要です。避
難を呼びかける広報車は、冠水等で一部しか
回れませんでした。水害後、防災行政無線が
導入され、市民からもその必要性が認識さ
れ定着しています。
- (4) 住民 大規模災害時には、被害の同時多発等
により、警察や消防はすべての被害には対応で
きないことから、自助や共助が重要になりま
す。自主防災組織の結成等を進めるべきです。

- (5) 車と建物地下階 車は水に脆いことを認
識し、冠水が始まったら車での外出は避け
る、冠水に遭ったら、早めに高台の安全な
場所に車を移すなどの対応が必要です。さ
らに、地下室冠水への対応としては、建物
の計画段階から地下室への浸水を考慮す
べきであり、既存施設については一般に、防
水板、防水扉の設置が行われました。建物
地下室の建物付属施設の被害は大きかつ
たが、全国的には注目されませんでした。そ
の後1999年6月福岡水害時に地下階
で犠牲者が出たこともあり、地下洪水対策
が検討されました(写真⑩)。



10 2003年7月19日 梅雨前線豪雨による博多駅筑紫口地下階の浸水
(国土交通省九州地方整備局提供)

福岡市博多駅周辺では、1999年6月に地下室への浸水があり、
地下洪水対策が新たな課題としてクローズアップされました。

長崎大学学術調査団の活動

長崎を襲った大災害に対して被災地にある長
崎大学では、長崎大水害学術調査団を結成しま
した。調査団のメンバーは夏休みを返上して、学
生、教職員一体となった精力的な調査活動を続



豪雨に備えよう

災害の特性は、社会の発展、技術革新の進
歩、土地利用、私たちの生活様式等によって非
常に異なります。1982年当時と比較する
と、地下空間の利用、携帯電話・インターネット
等のIT化の進展、高齢化・過疎化の進行、個
人や社会の経済力の低下が見受けられます。高
齢者の被災が特に多かった2004年新潟・福
島豪雨、福井豪雨や台風23号による災害でも、
現在の社会情勢を反映した災害の形態となっ
ています。気象情報など災害情報は、当時と比べ
ると格段に進歩し、情報伝達が整備されていま
すが、減災に結びつける取り組みはまだこれら
です。長崎豪雨を教訓に、お住まいの地域で豪
雨災害が発生した場合を想定して水害に備え
ることが必要です。



医学部・歯学部附属病院で 地震災害医療訓練を実施

11月20日、医学部・歯学部附属病院は長崎市消防局の協力を得て、職員、医学部学生等約130名が参加し、長崎市周辺で震度6弱の地震が発生したことを想定して、地震災害医療訓練を行いました。



赤エリアで受入の様子



搬送された傷病者のトリアージを行う医師等

救急車等で搬送されてきた傷病者を、傷病度が軽い順に緑、黄、赤、黒の4段階に色分け（トリアージ）し、治療の優先順位を決め、それぞれの色のエリアに搬送し、治療する訓練を行いました。

今回の地震災害医療訓練は、参加者が各エリアでの役割、連絡体制などを確認し、意義のある訓練となりました。

古写真アルバム 「ボードイン・コレクション」が オランダから里帰り



左から柴多附属図書館長、齋藤学長、姫野教授

11月27日、本学は、医学部の前身である医学部の第2代教頭アントニウス・ボードインの子孫（オランダ在住）から、古写真アルバム4冊と1幅のパノラマ写真からなる「ボードイン・コレクション」を入手したことを報道機関に発表しました。

オランダ医師ボードインは、在日中（1862～1870年）に誕生間もない写真術にも興味をもち、長崎の街の様子や人物などを自ら撮影するとともに、日本の写真を収集し、特別な装幀を施したアルバムも作成していました。

附属図書館が過去20年間にわたって収集してきた「幕末・明治期日本古写真コレクション」(http://www.lib.nagasaki-u.ac.jp/old_pic/)のなかでも中核的な資料になるものと期待されており、平成20年秋には展覧会を実施した後、インターネットで広く公開する予定です。



140年ぶりの里帰りに殺到する報道陣

学生支援プログラムによる 「やってみようでスク」 表札上掲式を実施

本学では、文部科学省大学改革推進事業「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に申請した「学生が自ら育む人間関係力醸成プログラム」が採択され、今年度から4年間このプログラムを実施していくこととなり、12月12日に、福永理事、菅原副学長、濱理事（事務局長）、田境学生支援部長をはじめ教職員、学生約50名が見守る中、齋藤学長と学生により表札が上掲されました。

この学生支援プログラムによる「やってみようでスク」が設置されたことにより、ワンストップセンターとして学生への支援はもろろんのこと、地域社会と連携・協力体制を確立させ、今後、学生の人間関係力の醸成と地域の活性化が期待されます。



表札を上掲する齋藤学長と学生

長崎大学グローバルCOEプログラム 「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」 第1回国際シンポジウムを開催

医歯薬学総合研究科は、1月31日～2月2日、4日の4日間、長崎大学グローバルCOEプログラム「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」(CHOOH0第21号参照)の第1回国際シンポジウムを医学部良順会館において開催しました。



シンポジウム風景(1)



概要を説明する山下教授



シンポジウム風景(2)



国内外招待者による記念撮影

今回のシンポジウムは、「新学際領域『被ばく医療学』の教育・研究拠点形成に向けて」のテーマで、今後の年次活動の目標と将来計画を明示し、活動内容を国内、旧ソ連邦、アメリカ、ヨーロッパの共同研究機関の研究者と協議するため開催されたもので、海外の研究者20名を含む放射線疫学、被ばく者医療、及び放射線生物学の著名な専門家42名が招聘され、総勢130名を超える研究者が参加し、基調講演や研究発表が行われ、大きな成果をあげました。

第3回長崎大学環東シナ海 海洋環境資源研究センター市民講演会 ”危機遺産ガラパゴスの昔と今”を開催

2月16日、総合教育研究棟において「第3回長崎大学環東シナ海海洋環境資源研究センター市民講演会”危機遺産ガラパゴスの昔と今”」が開催されました。

チャールズ・ダーウィン財団GA(国際委員)である松岡敷充センター長の挨拶の後、諫早自然保護協会の陣野信孝会長、WWFジャパンの小森繁樹氏、水産学部の飯倉良孝准教授、チャールズ・ダーウィン財団GAで、NPO法人日本ガラパゴスの会会長でもあり、ガラパゴス諸島の植物研究第一人者の伊藤秀三長崎大学名誉教授が講演されました。ガラパゴスの動植物や過去の画像は本学附属図書館ホームページ



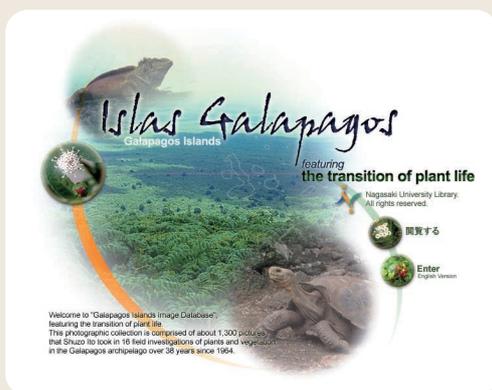
開会の挨拶を述べる松岡センター長



質問に答えるWWFジャパン小森氏



「松下幸之助花の万博記念賞」を受賞された伊藤名誉教授に花束を贈呈



(<http://gallery.lib.nagasaki-u.ac.jp/galapagos/>)で御覧いただけます。

雲仙温泉 下田ホテル

The Shimoda Hotel

【古写真DATA】 長崎大学附属図書館蔵

- ◎写真名称：雲仙大地獄
- ◎英語名称：The Unzen Big Hell
- ◎目録番号：3808
- ◎撮影者：撮影者未詳
- ◎アルバム名：上野彦馬
- ◎撮影地域：長崎
- ◎年代：明治中期
- ◎色彩：カラー
- ◎形状：273x213
- ◎整理番号：73-15-0



古写真に見る

近代ホテルの黎明期

1

工学部教授

岡林 隆敏

Okabayashi Takatoshi

安政6年(1859)、日本が開港

すると、新しいビジネスチャンス

を求め、多くの外国人が居留地に

殺到したが、宿泊施設が問題にな

った。このために、外国人居留

地に洋式ホテルが建設された。

さらに、明治初期になると、

東京、大阪などの都市にホテル

が造られた。明治10年頃以降、

外国人の国内の移動の拡大に伴

い、高温多湿の日本の夏を避けるた

めに、高原と温泉場に、リゾートホテル

が建設された。鉄道・水道・道

路など社会基盤の近代化が外部

環境の近代化装置だとすれば、

ホテルの建物、室内調度品、食

器、料理や作法など、近代的な

ホテルは、日本人の生活すなわ

ち、内部環境を近代化する最先端

の装置であった。

長崎大学附属図書館「幕末明治

期日本古写真画像データベース」

を「ホテル」で検索すると183件

の写真相がリストアップされる。この中に、幕

末から明治30年代までのホテルが

含まれている。平成20年度は、こ

のなかから4箇所「ホテルの写真」

を紹介する。第1回目は、表題に

あるように「雲仙温泉下田ホテル

」である。長崎市には「ベルビュー

ホテル」「長崎ホテル」など有名

なホテルがあり、これらもデータ

ベースで見ることができる。

長崎では、明治10年以降、西南

戦争の頃から、宣教師、領事、遠

くは熊本、鹿児島地方に在留す

る宣教師が続々と夏を雲仙で過

ごすようになってきた。雲仙登山

や温泉浴の外国人の数が増加し

、従来の旅館も建物にはペンキ

で塗り、障子は硝子戸と代わり

、室内の家具も洋式にして、次

第に外国人に対する対応ができる

ようになってきた。島原の下田源

八郎は、雲仙公園小地獄温泉浴

場の高台を均し、明治16年雲

仙温泉で最初の外国人向け

の「下田ホテル」を建設した。写

真が建設当時の下田ホテルであ

る。「下田ホテル」の装飾せられ

た談話室、食堂、大小の客室、

十数の内湯の浴槽等の洋式に

設備を整ひ、雲仙に於いて初

めて調理せられた食卓が朝夕

飾られるようになり、長滞には

は至極好都合となった」(『雲仙

と島原半島』/大正15年刊)と

されている。残念ながら、「下

田ホテル」は明治39年、火災

で全焼して再建されることはな

かった。明治中期以降、雲仙

温泉には次々外国人向けのホ

テルが建設された。

明治後期から昭和初期にか

けて大型客船の時代を迎えると

、マニラ、ハノイ、香港、上

海などの東南アジアや中国南

部の欧米駐在員にとって、雲

仙温泉は夏場に長期滞在する

絶好の避暑地であり、温泉リゾ

ートとしての大楽園となった。

【幕末明治期日本古写真画像データベース】

<http://oldphoto.lib.nagasaki-u.ac.jp>

編集後記

長崎は水産県であり、長崎大学水産学部の地元への貢献は計り知れないものがあります。水産学と聞けば、単に漁業や水産加工品を連想される方もおられるようですが、海洋科学という学問がベースにあり、そこには、魅惑的な世界が広がっています。受験生の皆様には、本特集で、未知なる宝庫「海」を探求しつつ地域に密着した研究事業を展開している長崎大学水産学部の魅力を感じ取っていただければ幸いです。

人クローズアップは、「長崎のまちづくり」仕掛け人である経済学部の山口純哉先生です。学生とともに楽しみながら精力的に種々の活動に取り組まれている様子には、わくわくするものがあります。

この号が発行されるころには、キャンパスはフレッシュマンたちで賑わっていることでしょう。新たな大学生活のお手伝いをしてくれる長崎大学生協を紹介しています。一般の方もご利用いただけますので、是非一度のぞいてみてください。

(原田哲夫)

[編集・発行]

長崎大学広報企画委員会

(広報誌企画・編集専門部会)

[部会長]-----

原田 哲夫(工学部教授)

[委員]-----

堀内 伊吹(教育学部教授)
吉田 高文(経済学部准教授)
高橋 和雄(工学部教授)
小林 信之(医歯薬学総合研究科教授)
堀尾 政博(熱帯医学研究所教授)
佐々木 均(医学部・歯学部附属病院教授)

TEL. 095-819-2014

FAX. 095-819-2024

(E-mail)

www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日] 2008年4月1日



古紙配合率70%再生紙を使用しています。

〈平成20年度〉長崎大学公開講座のご案内

長崎大学では、平成20年度においては下記の14講座を開講予定です。

市民の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、申込方法や申込期間などの詳細につきましては、連絡先へお問い合わせください。

本学のホームページ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)やポスターなどでもお知らせします。

講座名	開催予定日	受講対象者/募集人数	受講料	連絡先 市外局番(095)
平和・多文化共生の構想を深める PartⅣ	4/9~1/14 (全10回)	市民一般 20人	6,200円	教育学部総務係 TEL.819-2264
「免疫と病気」入門 -免疫の不思議な仕組みとその病気-	5/3 (全1回)	高校生、市民一般 100人	無料	医歯薬学総合研究科 学術協力課企画調査係 TEL.819-7195
現代経営: 現代経営の諸問題2008	5/16~6/27 (全7回)	市民一般 30人	6,200円	経済学部総務係 TEL.820-6304
「心とからだについて考える」	5/16~10/17 (全6回)	市民一般 40人	6,200円	心の教育総合 支援センター TEL.819-2256
地域づくり講座Ⅱ	5/26~2/23 (全9回)	地域づくり関係者、行政職員、 社会教育関係職員、 生涯学習担当学校関係者 など 15人	無料	生涯学習教育 研究センター TEL.819-2234
子どもの健康・安全・ しつけ等について学ぶ親教育講座 -NP(Nobody's Perfect)プログラム-	6/16~7/22 (全6回)	子育て中の市民一般 12人	無料	生涯学習教育 研究センター TEL.819-2234
「人口減少時代 持続再生のできる 長崎を目指して」	7/4~8/8 (全6回)	官公庁及び民間企業の 土木技術者 20人	無料	工学部社会開発 工学科事務室 TEL.819-2626
遺伝学講座Ⅵ ~遺伝について楽しく学ぼう~	8/26 (全1回)	小学4,5,6年生 30人	無料	医歯薬学総合研究科 学術協力課企画調査係 TEL.819-7195
食卓の風景 -食べる人と食べる物-	9/13~9/27 (全2回)	市民一般、教員、 保育関係者 30人	無料	生涯学習教育 研究センター TEL.819-2234
世界と日本の経済動向 -2008年秋-	9/25~11/6 (全7回)	市民一般 30人	6,200円	経済学部総務係 TEL.820-6304
生き生き健康ライフ講座Ⅶ	9/27~10/4 (全2回)	市民一般、医師、看護師、 栄養士、保健師 50人	無料	医学部・歯学部 附属病院 生活習慣病予防診療部 TEL.819-7550
情報セキュリティ講座	9/27~10/4 (全2回)	市民一般(高校生以上) 40人	5,200円	情報メディア 基盤センター事務室 TEL.819-2222
「社会科学のフロンティア」	10/4~10/5 (全2回)	市民一般、学生 30人	6,200円	経済学部総務係 TEL.820-6304
水産講座	未定 (全1回)	水産業従事者 30~40人	無料	水産学部総務係 TEL.819-2793

文教キャンパス内にも 銀行ATMがあります。

文教キャンパスの保健管理センター前に、
ゆうちょ銀行、十八銀行、福岡銀行の
ATMが設置されています。
どうぞご利用ください。



表紙について

「紙ぶくろ」

大学院教育学研究科 教科実践専攻
芸術と文化活動の教育コース
芸術専修免許プログラム 絵画1年
中田 寛昭

紙袋は荷物を運ぶ時に用いますが、用途が終われば、私はそれにウサギを切り抜きました。すると飛び跳ねている楽しいアート作品に替わりました。今では大学の建物の窓のように花びらを切り抜き、花びらの窓となっています。



<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>